

中学校生活も二週間たちました。どうですか。授業やクラブ活動をはじめとする学校生活、初めて経験することが多くて、とまどいと緊張の連続かもしれませんね。大丈夫です。二、三年生の先輩も皆そうだったんです。

ところで、みんなと出会って早くも、「今年の1年生にはすごい生徒がいる、私は負けている」と思うことが一つあるんです。なんだと思いますか。六十歳の私が十三歳のみんなに負けている。恥ずかしいとすら感じます。改めて、私も気を付けようと思っています。

それは「あいさつ」です。朝、正門で生徒会やクラブ部員、先生方があいさつをしています。さらに、朝の忙しい中、保護者の皆さんや地域の方々まで声をかけて下さっています。いろんな人たちが北中生のことを思って下さっています。うれしいですね。みんなに見守ってもらえるなんて。

その「あいさつ」の時、わざわざ立ち止まって、「あいさつ」をしてく

中学校で君達がやることは
自分の中にある
「自分の知らない自分」をどんどん
見つけてゆくことなんだ

宿題をやり抜ける自分
授業に集中したら
勉強がよく分かる自分
清掃に熱中できる自分
.....

君の中にもきっとあるに違いない
そんな自分を
どんどん見つけてゆくんだ
それが中学生なんだ

有正省三「中学生」より

れる一年生がいます。素晴らしい、美しい、立派です。なかなかできることではあせんよ。立ち止まって、しっかりと相手の顔を見て「あいさつ」をする。その人の気持ちを感じられます。心が動きました。礼儀とはそんな姿なんだろうと改めて思いました。もう一度、自分の身の周りのことを見直してみようと思いました。一年生のみんなに教えてもらいました。おかげで、私は、毎日、朝からとても気持ちのいい一日がはじまっています。感謝します。